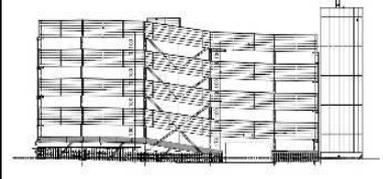


CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	刈谷市広小路A地区優良建築物(機械式駐車場)	階数	地下0階地上4階
建設地		構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2028年3月 予定	評価の実施日	2025年6月7日
敷地面積	3,129 m ²	作成者	石川 智樹
建築面積	933 m ²	確認日	2025年6月9日
延床面積	3,670 m ²	確認者	石川 智樹



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

- ①参照値: 100%
- ②建築物の取組み: #DIV/0!
- ③上記+②以外の: #DIV/0!
- ④上記+: #DIV/0!

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

機能性	N.A.
耐用性	2.8
対応性	2.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.5

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 0.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

水資源	3.0
非再生材料の使用削減	2.4
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

地球温暖化への配慮	N.A.
地域環境への配慮	2.8
周辺環境への配慮	3.0

3 重点項目					
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>N.A</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</td> <td>4.6 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	4.6 %	建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	4.6 %				
建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>2.4</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr> <td><外装材に使用した地域性のある材料></td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></td> <td>なし</td> </tr> </table>	<外装材に使用した地域性のある材料>	なし	<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし
<外装材に使用した地域性のある材料>	なし				
<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
刈谷市広小路A地区優良建築物(機械式駐車場)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		独自基準		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質												
Q1 室内環境												
1 音環境												
1.1 室内騒音レベル				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
1.2 遮音				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能				-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
1.3 吸音				-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 温熱環境												
2.1 室温制御				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 室温				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 外皮性能				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2.3 空調方式				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3 光・視環境												
3.1 昼光利用				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 昼光率				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 方位別開口				-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3.2 グレア対策				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 昼光制御				5.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3.3 照度				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3.4 照明制御				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
4 空気質環境												
4.1 発生源対策				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
4.2 換気				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 換気量				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 自然換気性能				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3 取り入れ外気への配慮				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
4.3 運用管理				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能												
1 機能性												
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
3 バリアフリー計画			独自	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3 内装計画				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3 維持管理				-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性												
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.5	2.8	0.52	-	-	-	-	-	2.8
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				0.4	3.0	0.48	-	-	-	-	-	-
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.80	-	-	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	2.5	0.33	-	-	-	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			②	-	2.0	0.50	-	-	-	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4 信頼性				0.1	3.0	0.19	-	-	-	-	-	-
1 空調・換気設備				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2 給排水・衛生設備				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3 電気設備			②	3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-
5 通信・情報設備				3.0	-	-	-	-	-	-	-	-

3 対応性・更新性					0.4	2.3	0.48	-	-	-	2.3
3.1 空間のゆとり					0.3	1.0	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり					-	1.0	0.60	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ					3.0	1.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性					0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性			②		-	-	-	-	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	-	-	-	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	3.0	0.20	-	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	-	-	-	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	3.0	0.40	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	3.0	0.40	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.57	-	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			独自③		-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④		-	2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮					0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④		-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性											2.7
LR1 エネルギー											
1 建物外皮の熱負荷抑制					3.0	-	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用					3.0	-	-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化				BEI=0	3.0	-	-	-	-	-	-
4 効率的運用					-	-	-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価					-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング					3.0	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制					3.0	-	-	-	-	-	-
集合住宅の評価					-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング					-	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制					-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル							0.50	-	-	-	2.6
1 水資源保護					0.1	3.0	0.15	-	-	-	3.0
1.1 節水					3.0	-	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					1.0	3.0	1.00	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.67	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.33	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	2.4	0.63	-	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減					-	2.0	0.07	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	3.0	0.24	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②		-	3.0	0.20	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自		3.0	1.0	0.20	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	2.0	0.05	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自		3.0	3.0	0.24	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	1.00	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避					-	-	-	-	-	-	-
1 消火剤					-	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)					-	-	-	-	-	-	-
3 冷媒					3.0	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境							0.50	-	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			①	#DIV/0!	-	-	-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮					0.5	2.8	0.50	-	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止					-	5.0	0.25	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				燃焼機器なし	-	2.0	0.50	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	2.3	0.25	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			独自		-	3.0	0.33	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制					-	-	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制			独自		-	3.0	0.33	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制					-	1.0	0.33	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮					0.5	3.0	0.50	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40	-	-	-	-
1 騒音			独自		-	3.0	1.00	-	-	-	-
2 振動			独自		-	-	-	-	-	-	-
3 悪臭					-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40	-	-	-	-
1 風害の抑制					-	3.0	0.70	-	-	-	-
2 砂塵の抑制					-	1.0	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制					-	3.0	0.30	-	-	-	-
3.3 光害の抑制					0.2	3.0	0.20	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					-	3.0	0.70	-	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	3.0	0.30	-	-	-	-

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE: 建築(新築)2016年版+あいち版手引き

刈谷市広小路A地区優良建築物(機械式駐車場)

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				N. A
LR3-1	地球温暖化への配慮	0.0	0.00	
② 資源の有効活用				2.4
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	2.3	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.32	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:4.6%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 刈谷市広小路A地区優良建築物(機械式駐車場)

計画上の配慮事項	
総合	特になし。
Q1 室内環境	対象外。
Q2 サービス性能	特になし。
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none">・敷地周りに視線を遮るような高い塀等は設けないことで、防犯性に配慮した。・緑地を設け、景観性に配慮した。
LR1 エネルギー	特になし。
LR2 資源・マテリアル	特になし。
LR3 敷地外環境	特になし。
その他	特になし。